

令和3年度事業報告書

社会福祉法人

富津市社会福祉協議会

1 法人全体としての取り組み

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、当法人の事業は前年に引き続き大きな影響を受け、新型コロナウイルス感染症に関連した特例の貸付や給付金制度など、今まで以上に市民からの相談件数も増え、内容も複雑多岐にわたるものとなりました。

法人本部の事業としても、社会福祉大会や福祉バザー等の大きな行事の中止や各事業の縮小、予防対応策の模索をしながら、地域福祉の推進の為に事業展開を行ってきました。

このような背景の中で、社会福祉協議会は地域福祉推進の担い手として令和3年度事業計画に基づき、行政をはじめ民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会の皆様と連携し、地域の皆様がともに安心して暮らせる地域づくりを目指し、以下の取り組みをしてまいりました。

1. 法人の組織運営の見直しの一環として就業規則の改正や、各事業における規程・要綱の見直しや改廃を行い、現在の当法人に即した対応ができるようにしました。
2. 職員体制の充実を図るための、市との協議に必要な資料の検討・準備を行ってきました。
3. 災害時における支援体制の在り方について、市防災安全課と協議し、災害ボランティアセンター設置に関する協定及び災害時における各種の契約締結に向けて協議しました。
4. 新型コロナウイルス感染症罹患者のための食糧支援に向けた対応策について市と協議しました。平日の相談支援はもとより、3月は日曜日の午前中のみ電話相談を受け付け、必要に応じて食糧を配達するなど、生活困窮者を対象に行っていた支援を拡大し活動しました。このことは今後行政との業務連携にあたり大きな実績となり得るものと考えます。
5. 生活困窮者自立支援事業においては、新たに自立支援給付金事業、住居確保給付金事業を市から受託し、その業務遂行のための派遣職員の増員を図りました。
これは生活困窮者に対し寄り添いながら自立に向けた支援を行ってきた成果を評価に加え新型コロナウイルス感染症特例貸付との連携の重要性、生活困窮者や離職を余儀なくされた相談者に対し自立支援のための事業展開の必要性があったからです。
6. 大佐和地区地域包括支援センターにおいては、地域における高齢者の相談窓口として介護に関する相談や虐待案件への対応だけでなく、介護事業所との連携やケアマネジャー支援など、地域に暮らす高齢者が元気に安心して生活できるよう事業展開を行いました。
7. 後見支援センター事業は年々需要が増える中で、現在は11件の成年後見人を受任し被後見人の皆様が不利益を被ることがないように、人権を保護しながらその人らしく暮らせるように支援しており、その業務内容は多岐にわたっております。

このように、まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況の中、法人本部だけでなく、大佐和地区地域包括支援センター事業、生活困窮者自立支援事業などすべての事業において見直しや修正を行いながらの事業展開となった1年でしたが、令和4年度以降も引き続き地域福祉の推進に邁進していきたいと思っております。

2 各事業別の実績

令和3年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告

1 定例会議及び事業

<会議>

| | 事業内容 | 場所等 |
|--------------|----------------------|-------|
| 民生委員児童委員定例会議 | 毎月1回地区別にて会議。年に数回全体会議 | 市役所 他 |
| 在宅ケアサービス会議 | 毎月1回。支援者の情報共有、事例検討 等 | 市役所 |

<事業>

| | 事業内容 | 場所等 |
|----------|--------------------------|-----|
| 総合相談 | 弁護士による法律相談・職員による福祉なんでも相談 | 市役所 |
| 音訳テープ発行 | 県民だより(草笛会)・広報ふつつ(いさり火の会) | 市役所 |
| 事務局情報発行 | 各月の事業計画について関係機関に送付 | |
| 交通手段支援事業 | 一人暮らし高齢者等の通院・買物支援事業 | |
| 買い物支援事業 | 一人暮らし高齢者等の買物支援事業 | |

* その他各事業については事業計画に基づきその都度実施

2 月別会議・事業

| | 事業内容 | 場所等 |
|---|--|-------------------|
| <4月事業> 社会福祉協議会会費依頼 | 市内全戸・法人等に依頼 | 市内 |
| <5月会議> 理事会議 監査会議 民生児童委員監査会議・役員会議 3地区民生児童委員総会 ボランティア連絡協議会総会 | 新評議員候補者の推薦 評議員選任解任委員の選任 令和2年度事業報告・決算 令和2年度事業報告・決算監査 令和2年度事業報告・決算監査 書面決議 書面決議 | 市役所 |
| <6月会議> 理事会会議 評議員選任解任委員会 評議員会会議 愛の募金(一円玉募金)推進委員会議 | 会長・副会長の選任 評議員の選任 理事・監事の選任 令和2年度事業報告・決算 愛の募金(一円玉募金)実施について | 市役所 市役所 市役所 |
| <7月会議> 民生児童委員役員会議 | | 市役所 |
| <7月事業> 愛の募金期間 | 各世帯に依頼 | |
| <8月会議> 理事会会議 <8月事業> 愛の募金回収期間 | 定例会議 地区社会福祉協議会にて回収・集計開始 | 市役所 |

| | | |
|---|--------------------------------------|-------------------|
| 福祉ふっつ第94号発行 | | 市内対象世帯 |
| <9月会議> 民生児童委員役員会議 | | 市役所 |
| <10月会議> 理事会会議 | 定例会議 | 書面決議 |
| <10月事業> | | |
| 福祉バザー | 中止 | |
| <11月会議> 民生児童委員役員会議 | 定例会議 | 市役所 |
| <12月会議> 理事会会議 | 定例会議 | 市役所 |
| <12月事業> 歳末たすけあい募金配分事業 | 災害備蓄品 他 | 市内対象団体等 |
| <1月会議> 民生児童委員役員会議 | 定例会議 * 悪天候の為書類を後日配布 | |
| <1月事業> 第41回富津市社会福祉大会 | 中止 | |
| <2月会議> 理事会会議 | 定例会議 | 書面決議 |
| <3月会議> 理事会会議 評議員会会議 民生児童委員役員会議 | 令和4年度事業計画・予算 令和4年度事業計画・予算 定例会議 | 市役所 市役所 市役所 |
| <3月事業> 福祉ふっつ第95号発行 | | 市内対象世帯 |

令和3年度 富津市社会福祉協議会役員会議報告

| 月 | 日 | 会議名 | 議 題 | 出席人数 |
|----|----|-------------|--|------------------------|
| 5 | 24 | 監査会 | 1 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 2 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 3 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について | 監事 3 理事 1 |
| 5 | 31 | 理事会 | 1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員選任解任委員の選任について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会新評議員候補者の推薦について 3 令和3年度第1回社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員会会議上程議案について 4 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 5 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 6 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について | 理事 14 監事 2 |
| 6 | 4 | 評議員選任解任委員会 | 1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員選任について | 委員 3 |
| 6 | 18 | 評議員会 | 1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会理事・監事の選任について 2 令和2年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 3 令和2年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 4 令和2年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について | 評議員 11 理事 1 監事 1 |
| 6 | 18 | 理事会 | 1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会会長の選定について 2 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会副会長の選定について | 理事14 監事2 |
| 8 | 25 | 理事会 | 1 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分第1回補正予算について 2 第41回富津市社会福祉大会の開催について | 理事 14 監事 2 |
| 10 | 13 | 理事会 (書面) | 1 第41回富津市社会福祉大会について 2 歳末たすけあい配分金事業について | 理事 15 監事 3 |
| 12 | 15 | 理事会 | 1 第41回富津市社会福祉大会について 2 第41回富津市社会福祉大会における表彰について | 理事 14 監事 2 |
| 2 | 16 | 理事会 (書面) | 1 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分第2回補正予算について 2 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分第1回補正予算について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会役員等費用弁償規程の一部改正について | 理事 15 監事 3 |

| | | | | |
|---|----|------|--|----------------|
| | | | 4 社会福祉法人富津市社会福祉協議会富津市大佐和地区地域包括支援センター 臨時的職員給与規程の一部改正について | |
| 3 | 23 | 理事会 | 1 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業計画について 2 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について 3 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分予算について 4 社会福祉法人富津市社会福祉協議会就業規程の全部改正について 5 社会福祉法人富津市社会福祉協議会ハラスメント防止に関する規程の一部改正について 6 社会福祉法人富津市社会福祉協議会の職員等からの通報等への対応手続きに関する 要綱の制定について | 理事 9 監事 3 |
| 3 | 28 | 評議員会 | 1 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算について 2 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分補正予算について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会就業規程の全部改正について 4 社会福祉法人富津市社会福祉協議会ハラスメント防止に関する規程の一部改正に ついて 5 社会福祉法人富津市社会福祉協議会役員費用弁償規程の一部改正について 6 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業計画について 7 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について 8 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分予算について | 評議員 15 理事 1 |

3 各事業別の事業実績

(1) 車椅子・歩行器貸与事業

車椅子・歩行器は1週間以内であれば無料、それ以降1か月につき500円で貸出。

個人貸与の傾向としては、1週間以内の利用者は通院や旅行、長期利用者は介護保険サービスでの利用が対象とならない方や骨折等の理由が大半を占めている。

行事貸与の傾向としては、今までは福祉教育体験の為の貸出が多かったが、令和3年度は選挙時の投票所への貸出しや、新型コロナウイルス感染症予防ワクチンの接種会場への貸出しがあった為、大幅な利用増であった。

<個人貸与台数>

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | R2計 |
|-----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|----|----|-----|
| 減免有 | 2 | 0 | 2 | 5 | 1 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 24 | 23 |
| 減免無 | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 4 | 12 | 59 | 95 |

<行事貸与台数>

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | R2計 |
|---|---|---|----|----|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|-----|
| | 0 | 0 | 63 | 35 | 0 | 0 | 21 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 126 | 19 |

<歩行器>

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | R2計 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|-----|
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(2) 福祉緊急電話設置事業

福祉緊急電話は設置時に10,000円の費用を本人が負担。

設置に関する相談は本人のみならず、ケアマネジャー等の支援者からの相談も増加。

廃棄は、本人死亡・施設入所等が主な理由である為、撤去方法についての問い合わせが多く、中には本体紛失に関する相談もある状況。

今後も設置業者との連携を取りながら状況に応じた対応ができるよう努めていきたい。

<過去5年の設置・廃止状況>

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 新規設置数 | 29 | 22 | 17 | 29 | 20 |
| 廃棄数 | 26 | 35 | 27 | 71 | 30 |
| 現在の設置数 | 311 | 298 | 288 | 246 | 236 |

(3) シルバーテレホン友愛サービス事業

一人暮らし高齢者の安否確認を目的とした毎日型の電話訪問サービス。

現在は9名の利用者に対してボランティア6名が対応している。

発足当初に比べ介護保険サービス等を利用している利用者も増加してきており、週に2~3回の利用希望者が多い。

また不在時や緊急時は、民生委員やケアマネジャーとの連携で迅速な対応ができています。

しかしながらボランティアの活動可能日だけで1か月間の電話訪問の調整ができないため、職員も動員している状況である。

今後はボランティア募集を含め、広報啓発に努めていく必要がある。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-------|
| 訪問件数 | 87 | 75 | 83 | 87 | 126 | 122 | 130 | 122 | 112 | 109 | 99 | 114 | 1,266 |
| 相談件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ボランティア数 | 7 | 7 | 6 | 7 | 7 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 6 | 7 | 84 |
| 活動延べ数 | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21 | 20 | 20 | 19 | 18 | 22 | 242 |

(4) ボランティア活動促進事業

ボランティア活動については令和2年同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設イベントへの要請が無く、各ボランティア団体での活動が主であった為、センターからの派遣実績は0である。

しかしながら、自主的に活動されているボランティア団体や個人からの保険加入に関する相談はあり、地域での活動は状況をみながら進められているので、ボランティア連絡協議会や各団体と連携しながら、情報の収集や相談支援を行い、活動促進に努めてきた。

また、災害時における災害ボランティアセンター設置等、体制整備について行政と打ち合わせを行い、令和4年4月1日付で協定を締結できるよう協議を行った。

(5) 買い物支援事業・交通手段支援事業

地区社会福祉協議会で取りまとめを行い年に数回実施している買い物支援事業については、新型コロナウイルス感染予防の為令和3年度においても事業そのものを中止とした。

非課税世帯で外出の為の手段のない高齢者を対象にした交通手段支援事業は、ボランティアの協力を得ながら1人当たり月2回までを限度に実施。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 稼働日数 | 5 | 5 | 2 | 5 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 7 | 2 | 5 | 57 |
| 買い物利用 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 14 |
| 通院利用 | 4 | 3 | 1 | 4 | 4 | 6 | 4 | 4 | 3 | 6 | 1 | 3 | 43 |
| ボランティア | 5 | 5 | 2 | 5 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 7 | 2 | 5 | 57 |

*ボランティアの人数には職員を含む。

(6) 福祉カー貸出事業

市内の福祉団体や市民を対象に、移動支援を目的としてハイエース・キャラバン・フリードを貸出。キャラバン・フリードは車いす対応。

貸出時の主な利用目的は、通院・転院・行事参加・研修参加等多岐にわたっている。キャラバンについては、老朽化が著しかった為年度末で廃車とする。

<フリード貸出件数>

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | R2計 |
|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|-----|
| 件数 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 4 | 4 | 3 | 5 | 6 | 29 | 37 |
| 日数 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 6 | 7 | 3 | 5 | 6 | 35 | 52 |

<ハイエース貸出件数>

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | R2計 |
|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|-----|
| 件数 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 4 | 4 | 3 | 5 | 6 | 29 | 37 |
| 日数 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 6 | 7 | 3 | 5 | 6 | 35 | 52 |

<キャラバン貸出件数>

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | R2計 |
|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|-----|
| 件数 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 6 |
| 日数 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 11 |

(7) 富津市社会福祉大会・福祉バザー

「ふれあいと支えあいのある豊かな社会」の実現を目指し、福祉団体のパネル展示や顕彰、記念講演を行っている富津市社会福祉大会と、市内で活動している地区社会福祉協議会・ボランティア団体の財源確保のために開催している福祉バザーは、感染予防の観点から中止。

社会福祉大会で顕彰予定であった被表彰者及び被感謝状贈呈者については、後日法人職員が訪問し授与した。

(8) 福祉ふつつ発行・ホームページの運営

広報「福祉ふつつ」は年2回（8月・3月）発行し、毎戸に配布。

ホームページは数年更新されていなかった為、全面的に見直しを図りリニューアルさせ、「福祉ふつつ」のバックナンバーの閲覧や各種申請書のダウンロードができるようにすることとピックスの充実を図った。

(9) 福祉教育推進事業

生涯学習としての福祉教育の推進と、学校教育における福祉教育の推進を図る為、障がい者総合支援協議会と連携し、各学校から依頼を受けて体験学習や福祉に関する講演を行う。

令和3年度においては実績なし。

(10) 総合相談事業

専門職（弁護士）による無料法律相談と社協職員による福祉に関する何でも相談を開設し、日常生活のあらゆる相談に対し解決のための支援を行った。無料法律相談は予約制であるが、毎回定員（1日6名）に達し、多い時には次月の予約も埋まる状況である。

また、社協職員による福祉に関する何でも相談の内容は多岐にわたり、必要に応じて各関係機関につないでいる。

<法律相談実績>

| 月 | 開設日数 | 予 約 受付数 | 相談数 | | 予約時の相談内容 | | | | | | |
|----|------|------------|-----|-------|----------|----|----|---|---|----|----|
| | | | 実 績 | キャンセル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 4 | 2 | 14 | 12 | 2 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 5 | 2 | 17 | 12 | 5 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| 6 | 2 | 16 | 12 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 7 | 1 |
| 7 | 2 | 14 | 12 | 2 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 1 |
| 8 | 2 | 13 | 9 | 4 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| 9 | 2 | 13 | 10 | 3 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | 3 | 1 |
| 10 | 2 | 12 | 9 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 3 |
| 11 | 2 | 13 | 11 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 |
| 12 | 2 | 14 | 12 | 2 | 4 | 1 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 1 | 2 | 13 | 12 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 4 |
| 2 | 2 | 15 | 12 | 3 | 2 | 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 3 | 2 | 14 | 12 | 2 | 4 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 計 | 24 | 168 | 135 | 33 | 33 | 23 | 13 | 4 | 9 | 30 | 27 |
| R2 | 24 | 173 | 141 | 32 | 32 | 23 | 10 | 8 | 4 | 15 | 50 |

*相談内容の番号… 1.相続 2.土地 3.離婚 4.家族 5.近隣 6.金銭 7.その他

<内容別内訳>

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 生 計 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 職業・生業 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | 4 |
| 住 宅 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 3 |
| 家 族 | | | | 1 | | 1 | 2 | 2 | | 1 | | 1 | 8 |
| 結 婚 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 離 婚 | 2 | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 3 | 12 |
| 人権・法律 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| 財 産 | 10 | 9 | 12 | 9 | 6 | 8 | 5 | 6 | 8 | 8 | 11 | 7 | 99 |
| 事 故 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| 教育・青少年 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 心身障がい児者福祉 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 苦 情 | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | 2 | | 6 |
| そ の 他 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 合 計 | 13 | 11 | 14 | 12 | 9 | 12 | 9 | 12 | 12 | 12 | 13 | 12 | 141 |
| R2 | 12 | 11 | 12 | 12 | 11 | 12 | 12 | 11 | 12 | 12 | 12 | 11 | 140 |

(11) 歳末たすけあい募金配分事業

共同募金会事業である歳末たすけあい募金で集まった財源を、各種事業に配分。

令和3年度は、地区社会福祉協議会・福祉団体への助成を始め、重度心身障がい者への災害時備蓄保存食セットを配布。

<配分内訳>

| 災害時備蓄保存食セット (単位 セット) | | | | |
|----------------------|-----------------------|-------|--------|-------------|
| 対象 | 富津地区 | 大佐和地区 | 天羽地区 | 合計 |
| 身体障がい者 (児) | 137 | 102 | 87 | 326 |
| 知的障がい者 (児) | 20 | 12 | 13 | 45 |
| 精神障がい者 (児) | 2 | 3 | 2 | 7 |
| 要援護者世帯 | 35 | 11 | 18 | 64 |
| 地区計 | 194 | 128 | 120 | 442 |
| 社会福祉協議会備蓄分 | 備蓄品セット 民生委員 100・予備 50 | | | 2,308,376 円 |
| | 困窮者等相談用バラ保存食各種 | | | 425,952 円 |
| 災害備蓄品合計 | 442+150+在庫用 = 592 | | | 2,734,328 円 |
| 福祉団体 | | | 6 団体 | 210,000 円 |
| 給食サービス委託費 | | | 897 食分 | 1,816,000 円 |
| 配分経費 | 封筒・発送料・後納郵便料金・振込手数料 等 | | | 103,163 円 |
| 総合計 | | | | 4,863,491 円 |

*災害備蓄品については、対象者に対し業者が直接発送。

(非常食5年保存セット)

*給食サービス委託費は各地区社会福祉協議会に年4回分を配分。不足分は各地区社協財源にて実施。@500円×人数+2,000(1人分の予備)

<福祉団体配分内訳>

| No. | 団体名 | 代表者 | 会員数 | | 金額 |
|-----|------------------|-------|-----|-----|---------|
| | | | 総数 | 市内 | |
| 1 | 富津市手をつなぐ育成会 | 渡辺明美 | 39 | 34 | 40,000 |
| 2 | 富津市子供会育成連絡協議会 | 能城多裕 | 43 | 43 | 50,000 |
| 3 | 富津市あゆみの会 | 長谷川初子 | 122 | 122 | 50,000 |
| 4 | 富津市ろうあ協会 | 三辻康一 | 14 | 14 | 20,000 |
| 5 | かいじゅうクラブ富津 | 小坂真紀 | 15 | 9 | 20,000 |
| 6 | 富津市手話サークル「コスモス会」 | 武次喜代子 | 43 | 21 | 30,000 |
| | 団体配分合計 | | 276 | 243 | 210,000 |

(12) 苦情解決

社会福祉事業者は提供する福祉サービスについて、利用者からの苦情(要望)を受け止め、適切な解決に努めなければならないため、受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員を定め安心してサービスを受けられようにする必要がある。

当法人においても部署ごとに上記職員を配置し、サービスに関する要望や苦情に対応できる仕組みを整備している。

また、第三者委員には中立・公正な立場の方を依頼し、社会性・客観性を確保したうえで利用者の立場や特性に応じた適切な対応を行えるようにしている。

令和3年度については、市民より様々なご意見や要望等があったものの、苦情解決の仕組みを使用し解決しなければならない案件はなかった。

今後も市民や利用者へ寄り添いながら、適切な事業展開ができるよう努力していく。

(13) 貸付金事業・法外援護事業

千葉県社会福祉協議会委託事業である生活福祉資金貸付事業と、富津市社会福祉協議会単独事業である社会福祉金庫貸付事業があり、現在は新型コロナウイルス感染症の影響で離職や収入減となった人を対象に貸付を行う臨時特例つなぎ資金貸付事業に関する相談が増加している。また、生活困窮者が生活保護を受給するまでの支援としての緊急小口貸付や食糧支援など貸付のみならず総合的に相談支援をするケースも増加している傾向である為、フードバンクや関係機関と連携し継続的に支援をしていきたい。

<貸付事業実績>

| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 総計 | | 34 | 57 | 59 | 43 | 44 | 47 | 38 | 43 | 76 | 54 | 39 | 43 | 577 |
| 内訳 | 来所 | 31 | 49 | 51 | 36 | 38 | 38 | 26 | 29 | 29 | 17 | 7 | 32 | 383 |
| | 電話 | 3 | 8 | 8 | 7 | 6 | 9 | 12 | 14 | 47 | 37 | 32 | 11 | 194 |
| ①緊急小口資金 | | | | 1 | | | 3 | 1 | 3 | | 1 | | | 9 |
| ②一般福祉費 | | | | | | | | | | | | | | |
| ③教育支援費 | | | | | | | | | | | | | | |
| ④介護費 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤障害自動車購入費 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥住宅改修費 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦療養費 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧不動産担保型資金 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨// (要保護世帯向け) | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩社会福祉金庫資金 | | 1 | | 1 | 2 | 1 | | | 2 | 2 | | | 1 | 10 |
| ⑪市社協緊急小口資金 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 4 | 2 | 3 | | 3 | 23 |
| ⑫緊急小口資金 | | 9 | 8 | 4 | 6 | 3 | 9 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | 50 |
| ⑬総合支援資金 | | 9 | 7 | 10 | 4 | 3 | 0 | 1 | 2 | 1 | | | 0 | 37 |
| ⑭総合支援資金 (再貸付) | | | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | | | | 0 | 18 |

①～⑨県社協受託事業 ⑩⑪市社協単独事業 ⑫⑬⑭ コロナ臨時特例つなぎ資金 (県社協)

<社会福祉金庫資金貸付>

| 項目 | 件数 | 金額 |
|-----------|----|----------|
| 福祉金庫資金貸付 | 10 | 520,000円 |
| うち償還完了分 | 8 | 465,000円 |
| 市社協緊急小口資金 | 23 | 223,000円 |
| うち償還完了分 | 21 | 198,000円 |

<貸付予算額> 1,000,000円

貸付額 743,000円

残額 257,000円

<令和3年度法外援護金実績>

所持金のない帰宅困難者に対し交通費(500円)を支給。

令和3年度は2件1,000円を支給。

(14) 在宅ケアサービス事業

高齢者・障がい者世帯等を対象に、制度内でのサービスでは賄いきれない訪問介護サービスを必要とされている方に対してヘルパーを派遣。

現在は利用会員数・協力会員数共に減少傾向であり、今後の事業展開については検討していく必要性がある。

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用者人数 | 8 | 8 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 71 |
| 活動日数 | 40 | 37 | 35 | 35 | 31 | 35 | 30 | 28 | 30 | 28 | 22 | 33 | 384 |
| 総時間数 | 58.5 | 52 | 39 | 39 | 35 | 38.5 | 31.5 | 29 | 31 | 29 | 24 | 33 | 439.5 |
| 世帯形態別日数 | | | | | | | | | | | | | |
| 障がい者世帯 | | | | | | | | | | | | | |
| 延べ時間 | | | | | | | | | | | | | |
| 高齢者世帯 | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 延べ時間 | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| その他の世帯 | 40 | 37 | 35 | 35 | 31 | 35 | 30 | 28 | 28 | 27 | 21 | 32 | 379 |
| 延べ時間 | 58.5 | 52 | 39 | 39 | 35 | 38.5 | 31.5 | 29 | 29 | 28 | 23 | 32 | 434.5 |
| 介護形態割合 (%) | | | | | | | | | | | | | |
| 生活援助 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 身体介護 | | | | | | | | | | | | | |
| 保育支援 | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | |

(15) 介護保険事業

介護保険法に基づき、相談・ケアプランの作成、保険請求を行うとともに、介護保険認定審査会及び訪問調査員として認定審査や訪問調査を行い、自主財源確保に努めてきた。

しかしながら、専任職員を配置することは困難であり、兼任職員2名体制での事業展開の為、利用者を増員することは困難である。今後は選任職員の配置も検討していく必要性がある。

(単位; 件)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 居宅介護支援 | 14 | 15 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 15 | 14 | 13 | 14 | 163 |
| 介護予防支援 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 訪問調査 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 12 |
| 認定審査 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |

(16) ふっつ成年後見支援センター事業

令和3年度におけるセンターの実績は、新規相談だけでなく現在受任している被後見人に対する平常業務外の業務の増加がみられた。

特に遺産分割協議や土地等の売買契約、入退院等の手続きなど後見監督人や裁判所、司法書士等、専門職との連携も多く、報酬も増額となった。

今後、広報啓発を活発に行うために、後見支援センターのパンフレットも作成。民生委員や関係機関に配布した。

<相談及び受任者数>

| | 高齢者 | 障がい者 | その他 | 計 |
|----------|-----|------|-----|----|
| 新規相談件数 | 13 | 0 | 2 | 15 |
| 新規受任者数 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 今までの受任者数 | 15 | 2 | 0 | 17 |
| うち死亡者数 | 6 | | 0 | 6 |
| 現在の受任者数 | 9 | 2 | 0 | 11 |
| 任意後見規約数 | 3 | 0 | 0 | 3 |

<類型別人数> 単位；件

| | 現在数 | 延べ数 |
|------|-----|-----|
| 後見類型 | 11 | 16 |
| 補佐類型 | 0 | 0 |
| 補助類型 | 0 | 1 |
| 計 | 11 | 17 |

<相談経路> 単位； 件

| | |
|--------|---|
| 本人 | 4 |
| 親族 | 1 |
| 担当ケアマネ | 4 |
| 民生委員 | 1 |
| 行政職員 | 5 |

<相談内容と対応>

単位； 件

| | | |
|------------|---|--|
| 成年後見制度について | 2 | 訪問や面談にて制度の説明 |
| 財産管理について | 8 | 日常生活自立支援事業の説明。判断能力が低下している等、状況に応じて成年後見制度についても説明 |

(17) 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある方の自立した地域生活を支援するため、福祉サービスの利用手続きの相談を受けたり、預貯金の出し入れの代行、重要書類の保管などを行っている。

現在は高齢者と知的障がい者の利用者が半数以上を占めており、市役所生活保護担当部署や相談支援機関からの相談が増加してきている。

今後は生活支援員の増員を目指し広報啓発を行うことが重要である。

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 相談・訪問調査等延べ回数 | | | | | | | | | | | | | |
| 高齢者 | 11 | 11 | 10 | 15 | 17 | 13 | 12 | 13 | 8 | 9 | 15 | 11 | 145 |
| 知的障がい者 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3 | 4 | 6 | 8 | 4 | 3 | 4 | 5 | 52 |
| 精神障がい者 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 36 |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 | 2 | 2 | 2 | 4 | 3 | 22 |
| 合計 | 19 | 18 | 18 | 23 | 24 | 19 | 27 | 26 | 17 | 17 | 25 | 22 | 255 |
| 上記のうち訪問調査のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 実人数 | 13 | 12 | 10 | 13 | 10 | 11 | 16 | 12 | 14 | 14 | 15 | 16 | 156 |
| 延べ回数 | 19 | 18 | 18 | 23 | 24 | 19 | 27 | 26 | 17 | 17 | 25 | 22 | 255 |
| 継続中の実人数 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 25 | 27 | 27 | 26 | 27 | 27 | 26 | 315 |

(18) 富津市大佐和地区地域包括支援センター受託事業

センター業務の入口となる総合相談は374件であり、総合相談の内容としては介護保険関係が全体の約55%で、関係機関と連携を図り課題解決に向けて取り組みました。

総合相談の内訳としては、施設入所に関するものが16件、コロナワクチン接種の予約等の支援が13件、交通支援関係が11件等になっております。なかには一人暮らしで高齢となりゴミ収集場所までゴミを持っていけないことや、身寄りがいなく一人暮らしの方が亡くなった後の死後事務処理等の相談、入院時の連帯保証人の相談等もあり、今後富津市は高齢化が更に進行するなかで、このような相談は今後増えてくることが予想され、これらの相談に対応する制度等をどのように創出するかが課題になっている。

「富津市いきいき百歳体操」では、現在大佐和地区は14団体が自主運営となり活動しており、今後も自主化の団体が増えていくよう活動を行っております。令和2年度からの新型コロナウイルスの感染症予防により、実施できない時期があり、身体機能の低下や認知機能の低下が見受けられる参加者もあり、「いきいき百歳体操」の重要性を再認識し、今後もこの体操が広まるように活動していきたいと考えている。

また、ケアマネジャーとの連携も重要であり、感染症予防をおこないながらケアマネジャーとの連携や資質向上が図れるように富津市ケアマネジャー協議会と協働で、Zoom等を使用して研修会を実施し、感染予防対策を市役所担当部署や3地区の地域包括支援センターと検討していきたい。

<総合相談・介護予防支援実績>

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 総合相談 | | | | | | | | | | | | | |
| 介護保険の申請等 | 7 | 8 | 7 | 10 | 5 | 7 | 6 | 5 | 3 | 4 | 4 | 7 | 73 |
| 介護給付に関すること | 10 | 11 | 7 | 7 | 7 | 11 | 12 | 8 | 13 | 17 | 15 | 9 | 127 |
| 総合事業に関すること | | | | | | | | | | | | 5 | 5 |
| 虐待に関すること | 2 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 4 |
| 権利擁護に関すること | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 成年後見制度に関すること | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 3 |
| その他 | 13 | 18 | 19 | 15 | 17 | 12 | 15 | 13 | 14 | 11 | 9 | 5 | 161 |
| 合計 | 32 | 37 | 34 | 32 | 29 | 30 | 34 | 26 | 30 | 33 | 30 | 27 | 374 |
| 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | | | 5 |
| ケアマネジメント業務件数 | 116 | 114 | 109 | 111 | 110 | 111 | 112 | 109 | 109 | 108 | 106 | 109 | 1,324 |
| うち委託件数 | 27 | 25 | 27 | 27 | 25 | 26 | 25 | 23 | 25 | 25 | 26 | 29 | 310 |

<その他事業実績>

| | |
|----------------------------|--|
| いきいき百歳体操 | 弁天区集会所 大貫ふれあいシニア館 中央公民館 憩いの里オーリーブ 鶴岡個人宅 笹毛公民館 西大和田青年館 佐貫コミュニティセンター 鶴峰八幡神社参集所 八田沼集会場 近藤区集会場 上公民館 絹青年館 一色・障子谷青年館 船端集会場 |
| ケアマネジャー事例検討会 | 2回 23名 |
| ケアマネジャー研修会 | 1回 50名 |
| 包括職員と障がい相談支援専門員の意見交換会 | 1回 15名 |
| 認知症サポーター養成研修講座及び見守り声掛け模擬訓練 | 2回 16名 |
| 地域包括支援センター業務説明会 | 1回 28名 |

(19) 生活困窮者自立支援事業及び被保護者就労支援事業

令和3年度は前年度末にプロポーザルの後、次期3年間の業務委託契約を締結。それに伴い、センターを今までの市民課窓口の隣から環境保全課の隣に移動し、相談支援を行った。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、減収・離職者からの相談が多く、相談の背景は複雑多岐にわたっている。

生活に困窮している方の相談窓口としての機能と生活保護に至る前の早期支援を行う「第2のセフティーネット」として、相談者に寄り添う支援を展開してきた。

また、新型コロナウイルス感染症特例貸付制度との連携や、住居確保給付金事業だけでなく、新たに自立支援給付金事業も受託し、生活に困窮している相談者を一丸で支援する体制で事業を展開した。

| 月 | 新規相談受付件数 | 相談経路 (重複有り) | | | | 支援方法 (延べ回数) | | | 就労支援対象者数 (延べ数) | 一般就労開始者数 (延べ数) | 増収者数 (延べ数) | 貸付申請者数 (延べ数) | 月 | 対象者数 | 訪問・電話 (延べ回数) | 就労開始者数 |
|----------------|----------|-------------|-------|-------|-----|-------------|---------|-----|----------------|----------------|------------|--------------|----------------|------|--------------|--------|
| | | 本人 | 家族・知人 | 関係機関等 | その他 | 電話相談・連絡 | 訪問・同行支援 | 面談 | | | | | | | | |
| 4 | 18 | 17 | 1 | 1 | 0 | 9 | 1 | 19 | 4 | 0 | - | 8 | 4 | 16 | 48 | 0 |
| 5 | 14 | 13 | 1 | 1 | 0 | 19 | 2 | 32 | 4 | 0 | - | 5 | 5 | 17 | 44 | 0 |
| 6 | 17 | 15 | 3 | 1 | 0 | 24 | 3 | 27 | 5 | 1 | - | 8 | 6 | 17 | 53 | 1 |
| 7 | 17 | 13 | 2 | 2 | 0 | 44 | 7 | 41 | 7 | 0 | - | 5 | 7 | 18 | 42 | 0 |
| 8 | 13 | 11 | 0 | 2 | 0 | 53 | 12 | 41 | 7 | 0 | - | 5 | 8 | 18 | 32 | 0 |
| 9 | 9 | 7 | 0 | 0 | 0 | 30 | 5 | 29 | 3 | 0 | - | 3 | 9 | 19 | 37 | 0 |
| 10 | 11 | 10 | 0 | 3 | 0 | 38 | 5 | 33 | 7 | 1 | - | 1 | 10 | 19 | 38 | 0 |
| 11 | 7 | 5 | 3 | 1 | 0 | 51 | 1 | 46 | 3 | 2 | - | 3 | 11 | 19 | 42 | 1 |
| 12 | 5 | 5 | 2 | 1 | 0 | 50 | 7 | 31 | 3 | 0 | - | 1 | 12 | 20 | 37 | 1 |
| 1 | 5 | 5 | 0 | 1 | 0 | 48 | 8 | 26 | 4 | 2 | - | 1 | 1 | 20 | 44 | 0 |
| 2 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 62 | 11 | 27 | 4 | 3 | - | 0 | 2 | 21 | 32 | 1 |
| 3 | 8 | 6 | 0 | 3 | 0 | 42 | 2 | 19 | 4 | 1 | - | 0 | 3 | 21 | 29 | 0 |
| 合計 | 131 | 114 | 12 | 16 | 0 | 470 | 64 | 371 | 55 | 10 | 0 | 40 | 合計 | 225 | 478 | 4 |
| R2 年度 実績 | 163 | 140 | 15 | 29 | 0 | 504 | 77 | 299 | 80 | 30 | 25 | 98 | R2 年度 実績 | 169 | 576 | 4 |

<自立支援給付金事業実績>

| 月 | 初回 | | 再支給 | |
|----|------|------|------|------|
| | 申請件数 | 決定件数 | 申請件数 | 決定件数 |
| 7 | 0 | 0 | | |
| 8 | 1 | 1 | | |
| 9 | 1 | 1 | | |
| 10 | 0 | 0 | | |
| 11 | 1 | 1 | | |
| 12 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 計 | 5 | 5 | 2 | 2 |

<住居確保給付金事業実績>

| 月 | 初回申請 | 決定 | 延長申請 | 決定 | 不決定 | 再延長申請 | 決定 | 再支給申請 | 決定 |
|----|------|----|------|----|-----|-------|----|-------|----|
| 4 | | | | | | | | | |
| 5 | 2 | 2 | | | | | | | |
| 6 | 1 | | | | | | | | |
| 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| 8 | | 1 | | | | | | | |
| 9 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | |
| 10 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 11 | 1 | 3 | | | | | 1 | | |
| 12 | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 2 |
| 2 | 1 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 |
| 計 | 10 | 9 | 4 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 |

4 社会福祉協議会 会費・愛の募金・共同募金 過去推移

(単位； 円)

<富津市社会福祉協議会会費>

| | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般会費 | | | | | |
| 富津地区 | 2,828,150 | 2,775,300 | 2,714,200 | 2,678,900 | 2,646,800 |
| 大佐和地区 | 2,273,900 | 2,255,700 | 2,230,900 | 2,218,200 | 2,242,360 |
| 天羽地区 | 2,101,800 | 2,043,060 | 2,005,970 | 1,985,600 | 1,972,000 |
| 一般会費計 | 7,203,850 | 7,074,060 | 6,951,070 | 6,882,700 | 6,861,160 |
| 特別会費 | | | | | |
| 市職員 | 58,300 | 61,200 | 57,600 | 57,600 | 57,600 |
| 区市民特別会費 | 14,400 | 4,800 | 8,400 | 8,400 | 2,400 |
| 特別会費計 | 72,700 | 66,000 | 66,000 | 66,000 | 60,000 |
| 法人会費 | 930,000 | 940,000 | 965,000 | 933,000 | 1,033,000 |
| 合計 | 8,206,550 | 8,080,060 | 7,982,070 | 7,881,700 | 7,954,160 |

<愛の募金>

| | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 地区社協名 | | | | | |
| 富 津 | 232,906 | 229,251 | 223,424 | 243,879 | 271,772 |
| 青 堀 | 384,332 | 386,294 | 376,312 | 403,580 | 393,063 |
| 飯 野 | 263,441 | 260,091 | 272,901 | 309,859 | 287,791 |
| 富津地区合計 | 880,679 | 875,636 | 872,637 | 957,318 | 952,626 |
| 大 貫 | 405,332 | 392,367 | 389,441 | 400,047 | 392,065 |
| 吉 野 | 188,518 | 195,522 | 205,238 | 231,287 | 211,742 |
| 佐 貫 | 249,372 | 268,221 | 251,119 | 256,790 | 243,919 |
| 大佐和地区合計 | 843,222 | 856,110 | 845,798 | 888,124 | 847,726 |
| 湊 | 201,935 | 220,430 | 204,077 | 240,062 | 241,519 |
| 天 神 山 | 135,002 | 141,940 | 142,238 | 153,620 | 155,634 |
| 竹 岡 | 116,919 | 113,122 | 111,149 | 125,424 | 124,763 |
| 金 谷 | 128,314 | 132,786 | 140,585 | 117,558 | 129,913 |
| 峰 上 | 246,497 | 243,245 | 236,364 | 241,266 | 227,507 |
| 天羽地区合計 | 828,667 | 851,523 | 834,413 | 877,930 | 879,336 |
| 富津市全区合計 | 2,552,568 | 2,583,269 | 2,552,848 | 2,723,372 | 2,679,688 |
| 新富工場協議会 | 21,007 | 33,600 | 15,542 | 61,072 | 31,728 |
| その他 | 8,817 | 2,783 | 21,542 | 68 | 0 |
| 合 計 | 2,582,392 | 2,619,652 | 2,589,932 | 2,784,512 | 2,771,416 |

<赤い羽根募金>

| | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 戸別募金 | 5,545,397 | 5,614,893 | 5,426,750 | 5,400,850 | 5,347,100 |
| 学校募金 | 136,084 | 108,040 | 91,513 | 65,793 | 93,340 |
| 職域募金 | 42,814 | 42,885 | 38,815 | 42,458 | 40,543 |
| その他募金 | 112,000 | 115,000 | 113,201 | 121,015 | 118,500 |
| 個人募金 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 0 | 58,379 |
| 法人募金 | 464,716 | 541,761 | 531,666 | 482,850 | 510,090 |
| 合計 | 6,351,011 | 6,472,579 | 6,251,945 | 6,112,966 | 6,167,952 |

<歳末たすけあい募金>

| | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 戸別募金 | 4,624,310 | 4,555,955 | 4,504,244 | 4,434,050 | 4,419,955 |
| 職域募金 | 46,338 | 44,071 | 42,630 | 47,296 | 43,498 |
| その他募金 | 40,423 | 9,254 | 0 | 12,295 | 0 |
| 法人募金 | 598,562 | 504,216 | 500,368 | 497,659 | 604,103 |
| 合計 | 5,309,633 | 5,113,496 | 5,047,242 | 4,991,300 | 5,067,556 |